２　学校教育目標と方針

全体構造図

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

第３期横浜市教育振興基本計画
横浜教育ビジョン 2030
横浜版学習指導要領

自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

子どもや地域の実態
地域の願い
保護者の願い

学　校　教　育　目　標

い ： いきいきとした心と体をつくる子（体）
ま ： 学びをいかそうとする子（知）
じ ： 自分とみんなを大切にする子（徳）
ゆ ： ゆめをもち人の役に立とうとする子（公）
く ： くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子（開）

学校教育目標を実現するための具体的な目標

知　学習の基礎基本を身に付けて自ら発見した課題を進んで探究し、いろいろな人と対話しながら考えを深め、学びをいかそうとする子を育てます。
徳　規範意識をもって社会のルールを守り、ふれあい活動やあいさつ運動などいろいろな人とのかかわりを通して、自分とみんなを大切にする子を育てます。
体　様々な学習を通して命の大切さを知り、自分の心と体に興味・関心を持ち、自ら進んで運動し健康でいきいきとした心と体をつくる子を育てます。
公　日々の学級活動、体験活動、ふれあい活動において、自らできることを考え、いろいろな人とのかかわりや経験を通して、夢をもち人の役に立とうとする子を育てます。
開　ふれあい活動や体験活動などいろいろな人とのかかわりや経験を通して、くらしをよりよくしようと、グローバルな視野をもって物事を考え、社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。

学校評価

今宿小学校における四つの重点取組

人権教育の推進（徳）
・「道徳の時間」改善と社会的スキルプログラムの実践
・ふれあい活動充実
・あいさつ運動実施

体験活動の推進（公）
・宿泊体験学習
・地域での体験学習
・自然、文化、歴史等体験を通して学ぶ事を大切にする

学力の向上（知）
・授業研究の実施
・朝読書、朝学習の充実
・家庭学習の定着
・少人数指導

一人ひとりのニーズに応じた教育の実現
・特別支援教育の充実
・授業改善
・国際教室

異校種間及び地域との連携・協力

幼稚園・保育園との連携・協力
・年間計画に基づいた交流事業

中学校との連携・協力
・授業体験
・部活動体験
・職員の合同研修

地域との連携・協力
・登下校時の見守り活動
・地域行事への児童の参加

教育課程、児童理解・指導